ウルグアイ内政・外交（２０１５年５月）

５月のウルグアイ内政・外交につき概要以下のとおり。

１　内政

（１）１０日，統一地方選挙が行われた。モンテビデオ県ではダニエル・マルティネス候補（ＦＡ・社会党）が当選した。

（２）１０日，工事が中断している液化天然ガス再気化事業につきバスケス大統領が「ＧＮＬＳ社はおそらく事業から撤退するであろう」と発言した。

（３）１９日付で，国家による人権侵害を過去に遡って調査する委員会の設置等を命ずる政令が公布された。

２　外交

（１）２～４日，西村国交副大臣が来訪。

（２）２１日，バスケス大統領がブラジルを訪問しルセーフ大統領と会談した。

（３）２６日，アルマグロ前外相がＯＡＳ事務総長に就任した。

（４）２７日，第４回ウルグアイ・パナマ政策協議がモンテビデオにて開催された。

３　治安

（１）民間人による犯罪加害者逮捕の際，犯人を殺傷するケースが見られる。

（２）スキミングによるクレジットカード詐欺を行う犯罪集団の捜査が進行中。

（３）ドメスティック・バイオレンス再発防止のため自宅拘禁刑者に対するＧＰＳ装着が検討中。

（４）内務省が警察のレスポンス・タイムをより短くすると発表。

４　その他

　ムヒカ前大統領の伝記が出版された。